

## 2

次は、山川さんが書いた【意見文の下書き】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

## 【意見文の下書き】

本を読んだとき、印象的な言葉に出会ったり、筆者の考えに共感したりすることがある。しかし、読み終わったときには覚えていても、少し時間がたつと忘れてしまい、本のどこに書いてあったかも分からないという経験をしたことはないだろうか。

私は、読んだ本について記録を残すことが大事だと考える。なぜなら、本を読んだ記録を残すことは大切なことだからだ。

具体的には、本のページの角を折ったり、しおりを挟んだり、気になる箇所に線を引いたりするなど、本に印を付けて読む方法がある。また、ページ数をノートにメモしながら読むのもよい。メモをするとき、<sup>①</sup>（や著者名、出版年）書名など本の基本的な情報や、気になる箇所を書き写しておけば、それがそのまま自分の読書記録になる。そうすれば、自分がその本を読んだときに考えたことをいつでも振り返ることができる。

せっかく読書をするのであれば、本から得た内容をしっかり自分のものになりたい。そういう意味でも、記録を残す読書は有効である。ぜひ一度、実践~~甘んじて~~してみようか<sup>②</sup>。

一 山川さんは、【意見文の下書き】を読んだ友達から、——線部「なぜなら、本を読んだ記録を残すことは大切なことだからだ。」の部分が不適切であるという指摘を受けました。その理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 書いてある内容が二通りに受け止められて、伝えたいことが明確ではないから。
- 2 書いてある内容と結論との関係がなく、文章全体としてのつながりがないから。
- 3 書いてある内容が意見の繰り返しであり、意見を支える根拠になっていないから。
- 4 書いてある内容と他の部分とが矛盾していて、論として筋が通らなくなっているから。

二 山川さんは、【意見文の下書き】を読み直して、①と②の二箇所を直しました。その意図として最も適切なものを、次の1から4までの中からそれぞれ一つ選びなさい。

- 1 難しい言葉を削ることで、読み手が一読して理解できるようにした。
- 2 読み手にはたらきかける表現を取り入れて、共感を得ようとした。
- 3 重要な言葉を繰り返し返して、伝えたいことを強く印象付けようとした。
- 4 例を増やすことで、あいまいな部分をより具体的にしようとした。